

令和7年度

赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和7年4月7日(月)

校長 高橋 励

Dear Student(*^_^*)

そんな学校にしたいのです(*^_^*)

～令和7年度が始まりました～

やさしさをふるまいに
おもいやりをくちびるに
こころざしをまなざしに

桜の花びらが風に舞う4月がまたやってきたね。進学・進級おめでとう!

さて、令和7年度をはじめのあたりに、スローガン『麦のように 柳のように 竹のように』を上のように改めました。

赤羽根中での生活の中で日々出会うさまざまな出来事を通して、しなやかに、そして粘り強く物事に向き合う力を身に付けてほしい、というわたしの思いは変わりませんが、だれもが安心してそれに向き合えるよう“あなたに心がけてほしいこと”を今年度のスローガンに込めました。

実は、今日から赤中生の仲間入りをする新入生に、日常生活で車椅子を必要とする人がいます。彼にとって車椅子は、メガネや踏み台のようなもの(インクルーシブ講演会の話、思い出せるかな?)。でも、車椅子を使えばあとはあなたと同じように暮らせるか、というと、なかなか難しいところもあります。



例えば教室の移動。車椅子は自力で階段を上り下りすることができません。廊下が人であふれているとすり抜けることができません。授業間

は10分。なかなか大変です(2年前アキレス腱断裂で松葉杖生活体験をした実感です)。

そこであなたにお願いします。

校舎の縦移動のために階段昇降機を使います。昇降機は南階段に置いてあります。また南階段側の各階に横移動のために使う車椅子が置かれています。移動では、各学年教室前の廊下を必ず通ります。体育館や技術科室への移動には、必ず生徒昇降口前の廊下を通ります。お互いが安全に暮らすためにはあなたの心配りが必要です。



また、教室などでは、車椅子を降りての移動もできますが、椅子に座ったり立ったりするときにはあなたの助けが必要なこともあります。「手を貸したほうがいいのかなあ」と思ったら、迷って止まるのではなく、ことばと行動で伝えてください。頼まれるのを待つのではなく、「何か手伝うことある?」「どうしてほしい?」ということばかけをあなたから投げかけてください。一人ひとりの心遣いが、いつもだれかを支えてくれている。そんな学校になってほしいなあ、と願っています。協力、よろしくね。

～保護者・地域の皆さまへ～
今年度もお世話になります

校長の高橋 励です。着任4年目になります。今年度も紙面を通して学校のようなすをお伝えしてまいります。よろしくお付き合いください。